

NPO法人ホープ



Newsletter in 石川

3つの事業活動（心のケア、光塩ネットワーク、インターナショナルスクール）を行っています。

日本聖書カウンセリング協会（JBCA）

心のケア

日本聖書カウンセリング協会（JBCA）は、国際的に聖書カウンセラーを養成するACBC（米国認定聖書カウンセラー協会）の認定団体です。OIC(Overseas Instruction in Counseling)の指揮のもとに、2018年以来、日本で講習会やカンファレンスによるカウンセラーの養成、またカウンセリングのための良書の和訳出版を行いながら、現在は日本人主導の組織に移行しつつ、この3月よりNPO法人ホープの一事業となりました。「聖書に基づいたカウンセリング」を通し、日本のために多大な時間と資金を投じてくださったジョー・ミラー博士とOICの講師陣に感謝し、また日本人ボランティアチームが、熱心に多くの奉仕を行ってきたことにも感謝します。

「聖書に基づいたカウンセリング」は、教会の兄弟姉妹の間で、キリストとみことばに従い、互いの成長のために支え合うための大きな助けとなります。この働きを神様が用いてくださり、多くの教会と兄弟姉妹と共に神の栄光を現すことが私たちの願いです。



内容：

日本聖書カウンセリング協会

PAGE 01

光塩ネットワーク

PAGE 02

IHI（石川ホープインターナショナルスクール）

PAGE 02

支援金振込先

北國銀行

トクヒ・ホープ

店番125

1) 心のケア

普通59049

2) 光塩ネットワーク

普通57016

3) 石川ホープ
インターナショナルスクール

普通51754

4) 全事業

ゆうちょ銀行

記号13170

21316581



こうせん

光塩ネットワーク（ヒカリ・みんなの食堂）

穴水町、輪島炊き出し by マット&マンディ宣教師（香港）

被災者のKさんがボランティアとして、今週初めて一緒に炊き出しに参加してくださいました。Kさんは輪島出身の方で、地震の影響で家と職場を失い、1月から金沢市に二次避難をされました。今回、一緒に能登半島の被災された方々を応援することができ、嬉しかったそうです。とても感謝なことでした。引き続き、被災者の方々を元気づけることができる働きができることを願っています。5月に入り、穴水の方々は、徐々に仮設住宅に移動し新生活を始められます。嬉しいことですが皆さんとお別れが寂しいです。この方々とは良い関係作りができたので、また再会できると信じています。5月はゴールデンウィーク中に、特別イベントがありました。3日は穴水町能登ふれあい文化センター、4日は輪島市立鶴巣小学校で焼きそばパーティを行いました。このイベントが祝福されたことを感謝します。引き続き、この働きを覚えお祈りください。



この希望は失望に終わることがありません。
なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。

ローマ人への手紙 5章5節



NPO法人ホープ

〒920-0277

石川県河北郡内灘町
千鳥台3-13



高野 あおい
千葉県出身

3月からNPOホープのスタッフとして勤めています。

IHI（石川ホープインターナショナルスクール）

4月8日（月）、あたたかな春の日に第2回目の入学式が行われました。中学部に1名（女子）、小学部に1名（男子）の新入生を迎え、生徒数は4名となりました。式では学長の林孝幸、NPO法人理事長代行の伊東健、校長代行の丹羽正栄が祝辞を述べ、丹羽校長代行からは、隣人を愛する（大切に）する（仕方）（生き方）をスクールで学んでほしい、という言葉が語られました。新しく中学科の数学を担当する高橋みづき先生も式に出席されました。子どもたちは新しい学年に進級し、意欲に満ちて学習に取り組んでいます。また、スクールには、時々、現在学校に行くことができずにおられるご家庭のご子息（2年生男児）が、お母さんと一緒に来られ、少しずつ学習されています。同じような悩みを抱えておられるご家庭のために、IHIがお役に立てることを願っています。

4月17日より、スクールの1家族が、カナダへ一時帰国されています。ご家族、子どもたちのために、続けてお祈りください。また、日本語部教頭の丹羽留都先生は4月末から8月まで、産休に入ります。留都先生と生まれてくる赤ちゃんのために、また、続けて学ぶ子どもたちの祝福のために、どうぞお祈りください。

